

漁海況速報

元-No. 48

茨城県水産試験場
漁業無線局

令和2年 3月 6日～ 3月12日

電話 (029) 273-7911

FAX (029) 270-1480

<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/suishi/index.html>

【海況図説明】

1. 黒潮は、犬吠埼の南東35マイル付近を北東に流れ、 $36^{\circ}10'N$ $142^{\circ}30'E$ 付近を流去している。
2. 本県沿岸域は、9～15℃台の水温となっている。

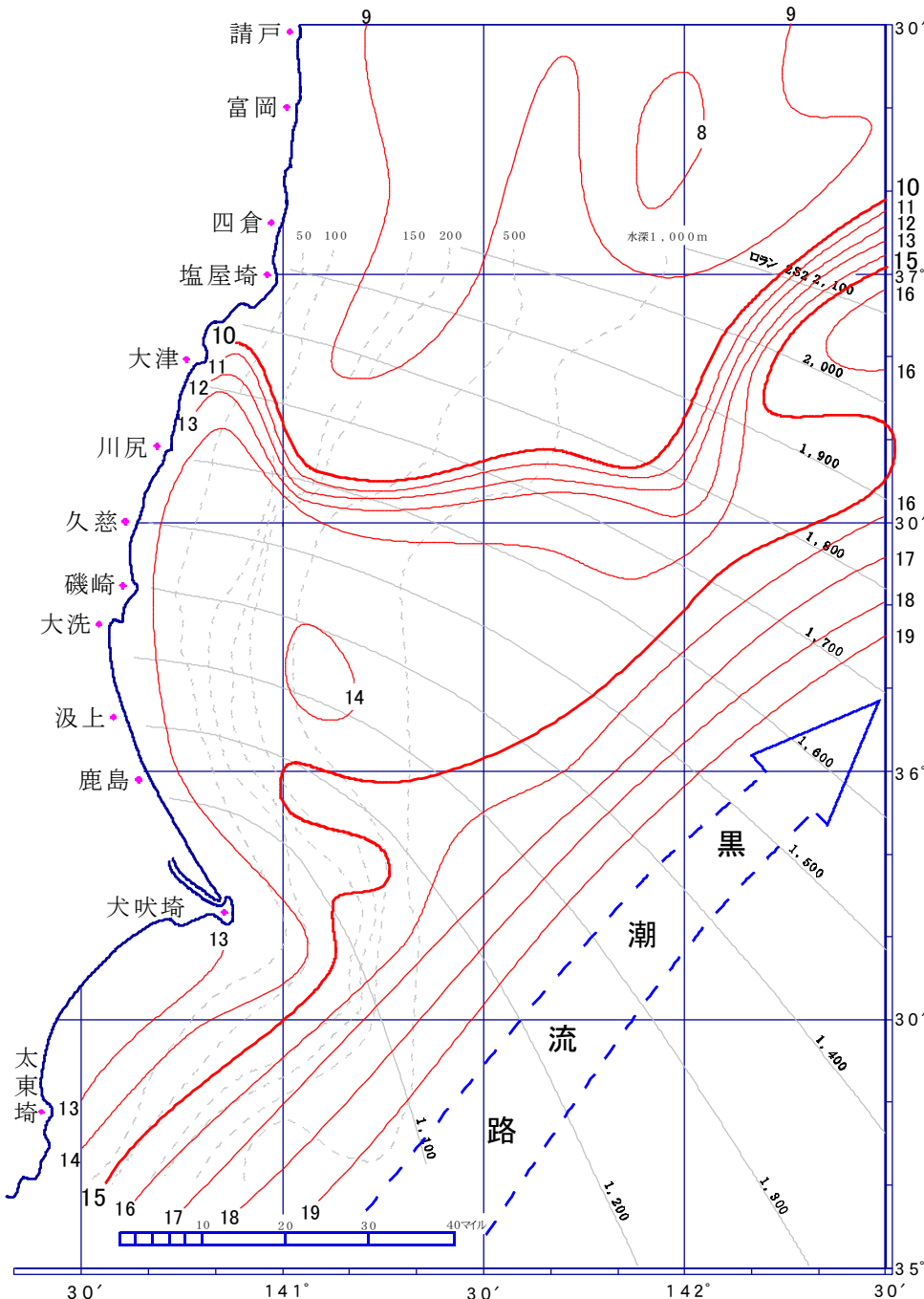
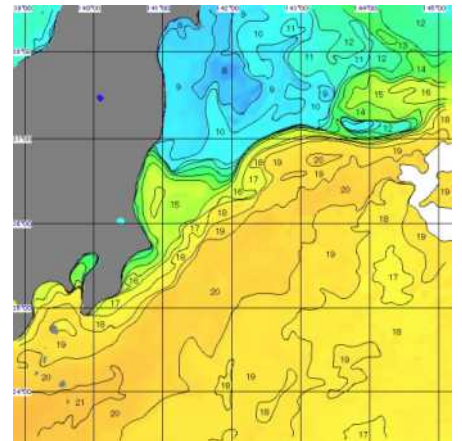
那珂湊定地水温 (°C)

日	年令	2	平	31	平年
3	6	12.6	13.2	9.6	
	7	12.5	13.0	9.6	
	8	欠測	12.8	9.6	
	9	12.6	12.8	9.6	
	10	13.3	欠測	9.6	
	11	13.3	13.2	9.6	
	12	13.2	欠測	9.6	
	平均	12.9	13.0	9.6	

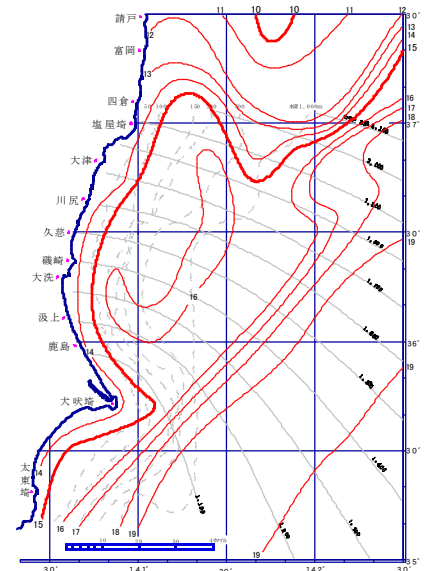
30年平均: 1981～2010年

令和2年 3月 6日～ 3月12日

【1週間合成衛星画像】



【海況図】



平成31年 3月 8日～ 3月14日

【海況図】

漁況の特徴

元 - No. 4 8

属地、単位＝四捨五入

3/5～3/11

魚種	漁法	組合名	水揚量 kg	平均単価	水揚金額 円	延隻数	
本ジラス	船曳網	平 潟	13	1,500	19,500	2	
		大 津	6	1,583	9,500		
		久 慈町	35	1,800	63,000	3	
		大 洗町	103	1,764	181,210	9	
カエリ	船曳網	大 津	71,275	20	1,425,500	85	
サヨリ 大	船曳網	平 潟	13	5,707	74,194		
		サヨリ 中	7	3,708	25,959		
ヒラメ	小底5t以上	平 潟	659	481	316,984		
		大 津	316	382	120,565		
		那 珂	314	813	255,432		
		大 津	16	586	9,320		
		固定式刺網	大 平	43	1,096	46,779	
		その他釣り	那 珂	23	915	21,400	
		大型定置網	会 瀬	76	588	44,435	
その他漁業	平 潟	7	511	3,577			
イシガレイ	延 縄	大 洗町	14	283	3,820		
マコガレイ	小底5t以上	平 潟	8	110	836		
		那 珂	17	391	6,650		
		大 津	7	111	733		
イシモチ	小底5t以上	平 潟	169	59	10,044		
		大 津	100	98	9,789		
タイ類	小底5t以上	大 津	6	100	560		
		久 慈町	67	113	7,585		
		那 珂	570	278	158,650		
		大 津	149	136	20,242		
		その他漁業	会 瀬	16	787	12,594	
スズキ	小底5t以上	平 潟	345	31	10,669		
		大 津	296	52	15,530		
		久 慈町	58	265	15,420		
		那 珂	441	291	128,196		
		大型定置網	会 瀬	37	176	6,469	
アイナメ	大型定置網	会 瀬	6	923	5,818		
アンコウ	小底5t以上	平 潟	394	220	86,867		
		大 津	192	245	46,976		
		久 慈町	257	372	95,600		
		那 珂	96	471	45,260		
スルメイカ	小底5t以上	平 潟	2,109	170	358,100		
		大 津	404	450	181,728		
ヤリイカ	小底5t以上	平 潟	7,243	412	2,984,390		
		大 津	(28)	15,989 (山売)	447,688		
		久 慈町	5,939	951	5,649,840		
		那 珂	806	925	745,580		
		大型定置網	会 瀬	12	1,044	12,113	
マダコ	小底5t以上	大 津	68	178	12,123		
		久 慈町	6	400	2,240		
		那 珂	43	532	22,890		
		その他漁業	平 潟	16	1,010	15,857	
ミズダコ	小底5t以上	平 潟	164	251	41,150		
		大 津	27	289	7,660		
		久 慈町	95	342	32,450		
ショウサイフグ	大型定置網	会 瀬	57	93	5,248		
ホウボウ	小底5t以上	平 潟	120	610	73,161		
		大 津	320	572	182,955		
		久 慈町	24	502	11,940		
		那 珂	225	423	95,080		
		大型定置網	会 瀬	33	438	14,457	
アナゴ	小底5t以上	平 潟	1,130	183	207,100		
		大 津	214	318	68,120		
		久 慈町	11	275	3,030		
		那 珂	13	776	9,705		
マアジ	小底5t以上	平 潟	8	211	1,690		
		那 珂	6	488	3,122		
		大型定置網	会 瀬	236	57	13,560	
サバ	大型定置網	会 瀬	72	53	3,768		
ブリ類	その他釣り	那 珂	6	391	2,305		
		大 津	8	368	3,090		
カマス	小底5t以上	大 津	47	329	15,470		

◎ まき網

(漁獲は1投網当り)

今週は時化のため出漁船がなかった。

◎ 小型船

(漁獲は1隻当り)

◇船曳網

本ジラス・・・日立地先で17～18kg、那珂湊地先で18kg(1隻)、大洗地先で1～45kgの漁獲。

カエリ・・・大津地先から磯原地先で400～1,375kgの漁獲。

ノレソレ・・・那珂湊地先で1kg(1隻)、大洗地先で1～10kgの漁獲。

サヨリ・・・平潟地先で6～20kg(1ヶ統)の漁獲。

◇曳釣り

平潟地先から川尻地先でサワラ5～24kg、那珂湊地先から鹿島地先でヒラメ1～20kg、ホウボウ1～5kg、アイナメ1kg前後、スズキ2～5kgの漁獲。

◇手釣り

平潟地先から磯原地先でヒラメ5～17kgの漁獲。

注 延隻数:銘柄別隻数 大津の水揚の一部は水揚げ量・平均円共に「山売」を含む

茨城県水産試験場漁業無線局

底魚資源調査（冬季）を実施しました

水産試験場では、本県沖の主要な底魚資源の動向を把握するため、平成15年から調査船いばらき丸(179t)により年2回(夏季, 冬季)の着底トロール調査(オッタートロール)を実施しています。本調査では、本県沖の水深75~450mまでの海域、合計29点において、15~30分間(速力2.5ノット)網を曳き、得られたデータから底魚類の現存量を推定しています。今回は令和元年12月~令和2年1月の間に実施した冬季調査結果についてお知らせします。

1 主要な底魚類の推定現存量の推移

表は、平成21年から今回までの主要な底魚類の現存量の推定結果です。過去5年間の傾向から増加傾向にある魚種はヤナギムシガレイ、ムシガレイ、ミギガレイ(にくもち)、ユメカサゴ(のどぐろ)の4種、横ばい傾向にあるのはマコガレイ、マガレイ(沖マコ)、アオメエソ(めひかり)、アカムツ、キチジ、ベニズワイガニ(紅ずわい)の8種、減少傾向にあるのはヒラメ、ババガレイ(なめた)、アカガレイ、ヤナギダコ(水だこ)、エゾイソアイナメ(ドンコ)、マダラ、ズワイガニ(本ずわい)の7種と判断しました。その他、漁獲対象とはなっていないトラザメ(ねこざめ)、テナガダラ(とうじん)は横ばい傾向でした。

表 推定現存量の推移(冬季トロール調査)

(単位:トン)

魚種/年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	5ヶ年の傾向
ヒラメ(平目)	65	38	126	365	448	389	466	310	261	221	247	減少
ヤナギムシガレイ	57	36	52	35	51	30	48	46	37	52	57	増加
ババガレイ(なめた)	28	26	61	101	80	33	73	25	32	39	10	減少
アカガレイ(赤がれい)	378	190	449	221	314	84	96	94	66	73	51	減少
マコガレイ(本まこ)	22	14	50	45	11	5	6	46	26	25	31	横ばい
マガレイ(沖まこ, あかじ)	21	6	16	62	75	26	13	13	5	6	8	横ばい
ムシガレイ	48	25	50	89	89	181	162	248	187	416	324	増加
ミギガレイ(にくもち)	138	13	102	20	43	26	36	26	56	24	52	増加
ヤナギダコ(水だこ)	203	229	400	172	202	119	35	105	122	104	74	減少
アオメエソ(めひかり)	29	3	233	69	24	6	25	14	173	30	28	横ばい
エゾイソアイナメ(ドンコ)					107	73	100	577	347	401	223	減少
マダラ	13	181	1,367	322	505	1,104	401	156	68	63	22	減少
アカムツ					0	5	16	1	3	2	3	横ばい
ユメカサゴ(のどぐろ)					13	10	28	11	32	17	45	増加
キチジ	11	12	108	0	6	25	3	117	102	71	119	横ばい
ズワイガニ(本ずわい)	296	666	16	27	17	5	2	22	12	1	4	減少
ベニズワイガニ(紅ずわい)	96	0	0	11	0	0	0	3	0.4	0.2	0.5	横ばい
トラザメ(ねこざめ)	2,051	1,643	806	1,863	2,286	2,236	2,739	3,271	1,843	3,183	2,697	横ばい
テナガダラ(とうじん)					2,769	1,177	501	1,154	3,046	3,588	1,582	横ばい

(エゾイソアイナメ, アカムツ, ユメカサゴ, テナガダラはH25調査から現存量計算)

2 今回の注目魚種

これまでの調査の結果から、ヒラメについては冬季の推定現存量と翌年1~6月の漁獲量に一定の相関が認められております。今回の調査で得られた現存量を基に、R2年1~6月の漁獲量を予測したところ、約150トンとなりました(図1)。

また、ヤナギムシガレイについて、今回、各地先の100~200mで16cm以下の小型魚(1歳)が多数確認されました(図2)。小型魚の良好な加入が確認されたのは2015年度以来4年ぶりであり、資源の増加につなげるためにも、小型魚の獲り控えを行うこと(大量に入網する場所での操業を控える)が重要となります。

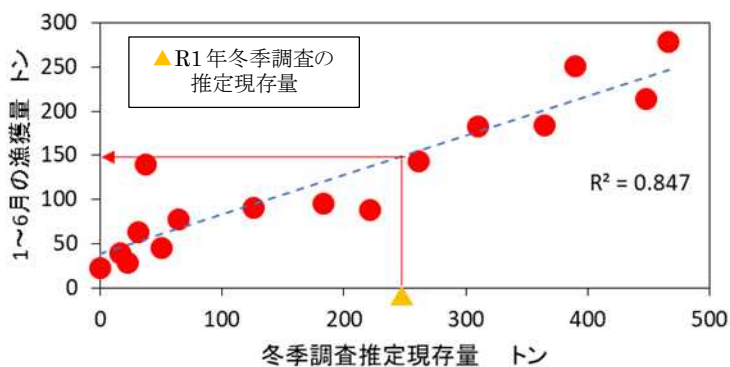


図1 ヒラメの冬季推定現存量と1~6月の漁獲量の関係

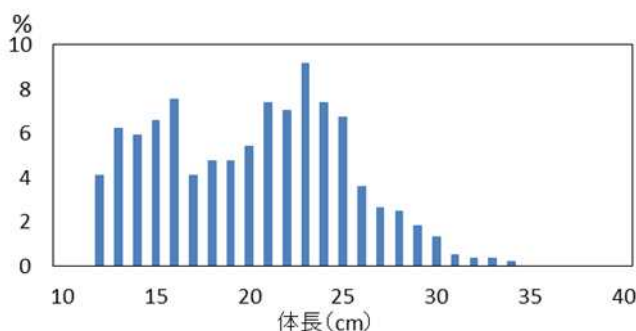


図2 採取されたヤナギムシガレイの大きさ

(水産試験場 定着性資源部)

【次回予告】R2.3.20 発行の「水産窓」は「3月の海況と今後の予測」を予定しています。